

全校集会校長講話(6月23日)

6月は「いじめ見逃しゼロ強調月間」です。今日は、改めて“いじめ”について一緒に考えてみたいと思います。

まず、いじめ防止対策推進法第2条に定められている「いじめの定義」です。

この法律において「いじめ」とは、児童生徒に対して、同じ学校に在籍するなど一定の関係にある他の児童生徒が行う、心理的または物理的な影響を与える行為（インターネット上の行為を含む）であって、その行為を受けた児童生徒が心身の苦痛を感じているものをいう。

また、第4条には、「児童生徒はいじめを行ってはならない。」と明記されています。ここでいう児童生徒とは、小学生から高校生までを指します。つまり、いじめは法律に反する違法行為です。

「人の物を盗んではいけません。」「人を殴ったり蹴ったりしてはいけません。」「人の悪口を言っではいけません。」これらもすべて法律に反する行為であり、行った本人が責任を負うことになります。「中学生だから許される」という甘い考えは通用しません。

この善悪の判断は、大人になるために必ず身に付けなければならない力です。

特に中学生の場合、けんかによるケガ（暴行・傷害）は、病院で保険が適用されないことがあります。その場合、治療費などが加害者側に請求されることもあります。

残念ながら、村上第一中学校にもいじめは存在します。おそらく、どの学校にもあります。しかし私は、一中生は困っている人を助けることができる生徒だと信じています。私はいじめを絶対に許しません。

いじめで困っている人は、先生たちが全力であなたを守ります。安心して SOS を出してください。「からかい」や「いじり」もいじめです。暴力は当然いじめであり犯罪です。いじめは絶対に許されない違法行為です。

一中のホームページには、文部科学省（令和5年2月7日通知）の資料をもとにした

「警察に相談または通報すべきいじめの事例」を掲載しています。ぜひ確認してください。

さて、いじめの定義には「一定の人的関係にある者による行為」とあります。では、たまたま出かけた先で、見知らぬ人から殴られたり蹴られたり、ナイフで切られたりした場合はどうでしょうか。

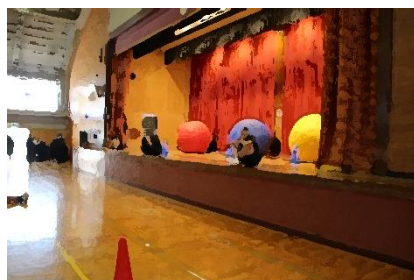
この場合は「いじめ」ではなく、刑法第208条の「暴行」、第204条の「傷害」に当たります。中学生であっても、警察に補導や逮捕され、家庭裁判所に送致され、少年鑑別所などを経て審判を受け、保護観察・少年院送致・検察官送致（逆送）などの処分を受けることがあります。

刑法の話が出たので、最近問題になっている「闇バイト」についても触れておきます。そで行われている「殺人」「強盗致死傷」「現住建造物等放火」などは、いずれも死刑、無期懲役、5年以上の懲役といった極めて重い刑罰が科される重大犯罪です。

甘い誘いに乗ってしまうと、人生を大きく狂わせることになります。闇バイトで逮捕された高校生は、家族を殺す等と言われて従うしかなかったと言っているようです。このような犯罪は刑罰を受ける刑事責任だけでなく、損害賠償や慰謝料などの民事責任も負うことがあります。刑罰を受けた後、賠償金等を一生払い続けることにもなります。

双翼際のスローガンと各団のカラーが決まりました

6月15日（月）に、双翼際スローガン「威風堂々 最高の仲間と最高の瞬間を」が発表されました。これには、「自分たちの最高の仲間とともに、自信に満ち溢れるような応援、そして団の代表として正々堂々とした競争を通して、互いに最高の瞬間を目指す。」という願いが込められています。その後、各団の色決めが行われました。各団の代表はステージで隠されている赤、青、黄色の大玉の前に座り、カーテンが開くのを待ちました。カーテンが開き、各団の色が分かれると体育館に歓声が響きました。続いて、色決めに使用した大玉を使って大玉送りを行いました。各団が協力して大玉を運び、双翼祭に向けた団の結束を深めることができました。



ジョブフェスがありました

6月7日（日）に、「だすけ村上」主催による「第3回ジョブフェス」が開催されました。当日は晴天に恵まれ、パトカーや消防車の乗車体験をはじめ、多くの企業や団体による出店が行われ、会場はたくさんの来場者でにぎわいました。

村上第一中学校からは、放課後活動「一中アフター」の一環として活動している「村上第一中学校総おどり」に参加する生徒たちが、ステージ発表に午前・午後の2回出演しました。生徒たちは、ダイナミックで生き生きとした踊りを披露し、多くの観客から大きな拍手をいただきました。仲間と心をつなげて踊る姿は、会場に感動を届ける素晴らしい発表となりました。



シェイクアウト訓練を行いました

6月18日（木）に、地震発生時に自ら身を守る行動を身に付けることを目的として、シェイクアウト訓練を実施しました。この訓練は、令和元年6月18日に発生した山形県沖地震において、市内で震度6強の大きな揺れが観測されたことを踏まえ、地震災害への備えを再確認する機会として行ったものです。今回の訓練では、従来の防災訓練のように避難場所へ移動するのではなく、地震発生時に「その時いる場所」で自発的に身を守る行動がとれるようになることを目的としました。



訓練では、次の3つの行動を合言葉に、1分間の安全確保行動を行いました。

1 まず低く（Drop）

姿勢をできる限り低くし、転倒によるけがを防ぎます。

2 頭を守り（Cover）

机の下に入るなどして頭を守ります。机がない場合は、腕や荷物を使って頭部を保護します。

3 動かない（Hold on）

揺れがおさまるまで、机の脚などをしっかりつかみ、その場で身を守ります。

生徒たちは、防災無線の指示に従いながら真剣に訓練へ取り組み、自らの命を守る行動について考える貴重な機会となりました。ご家庭におかれましても、地震や災害発生時の避難場所や避難経路、家族間の連絡方法などについて、この機会にぜひご確認ください。

クリーン作戦を行いました

6月10日（水）に、環境委員会主催のクリーン作戦を実施しました。昨年度は、一中WALKにおける地域貢献活動の一環として、釣り人や海で遊ぶ人が増える夏を前に瀬波海岸の清掃活動を行いました。しかし、本年度は雨天予報のため瀬波海岸でのクリーン作戦を中止せざるを得ませんでした。

そのような中、環境委員会から「地域のためにできる活動を行いたい」という提案があり、地域の公園や学校周辺の清掃活動を実施することとなりました。鮭公園は日頃から整備が行き届き、ごみも少ないことから、大欠児童公園や学校周辺を中心に清掃活動を行いました。

当日は環境委員会の生徒だけでなく、多くの生徒が自主的に参加し、地域の環境美化に貢献することができました。自分たちの住む地域を大切にしようとする生徒たちの姿が見られた、有意義な活動となりました。



海水浴について

先日も中学生が海で海水浴中に命を落とす事故が報道されました。7月に入ると各海水浴場で海開きがあります。これからの時期、海水浴を楽しむ人も多いかと思います。楽しい海水浴を安全に行うため、村上第一中学校では以下のとおり定め、生徒手帳「私たちのきまり」に記載しています。

海水浴について

ア 遊泳は監視員のいる海水浴場で行い、海水浴場のルールをしっかりと守ります。

イ 離岸流に気を付けます。

ウ 波が高い日、風の強い日、雨の日、雷の日等は絶対に海に行きません。

エ 子どものみで海水浴場へ行く場合は3人以上で行動します。

「ア」と「エ」、村上地区で監視員がいる海水浴場が瀬波温泉海水浴場のみとなるため、近隣で生徒のみで行ける場所は瀬浪温泉海水浴場のみとなります。それ以外の監視員がいない海水浴場に行く場合は、保護者をはじめ引率責任がとれる大人と行くようお願いします。あわせて、山や川に行く際も同様に大人の同伴をお願いします。



1	水	一中校区挨拶運動（6/29～7/3）
7	火	村上大祭による体験的学習活動休業日 預り金振替日
9	木	専門委員会
10	金	SOS の出し方講習（ゲートキーパー出前授業） メディアコントロール強調週間 ～16(木)まで
13	月	学期末保護者面談 ～16(木)まで
17	金	3年生単元別テスト
20	月	海の日
21	火	双翼祭結団式
24	金	1学期終業式 給食最終日
29	水	3年生高校説明会（ふれあいセンター）